

環境分科委員会のプロジェクト

北東アジア地域国際環境シンポジウム

1.シンポジウム開催趣旨

北東アジア地域の地方自治体行政担当者等が会し、地方自治体レベルでの環境保全対策や国際環境協力に関するノウハウや技術等の情報交換、環境保全のための総合的な連携協力の推進を図ることを目的として、2001年は中国江蘇省で、2002年は韓国忠清南道で、2003年はロシア連邦ハバロフスク地方で、北東アジア地域国際環境シンポジウムを開催しました。

2.シンポジウムの開催期日及び開催場所

2001年11月27～29日：中国江蘇省(南京市)

2002年5月14～16日：韓国忠清南道(牙山市)

2003年11月4～6日：ロシア連邦ハバロフスク地方(ハバロフスク市)

3.テーマ

2001年：湖沼の水質汚濁の防止対策

2002年：有機性(生活)廃棄物の効率的な処理

2003年：河川の水質管理対策

4.主催

2001年度：北東アジア地域環境協力推進協議会(北東アジア地域自治体連合環境分科委員会の日本側会員である青森県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、島根県の8府県で構成)、江蘇省(環境保護庁及び人民対外友好協会)

2002年度：北東アジア地域環境協力推進協議会、忠清南道(福祉環境局環境管理課)

2003年度：北東アジア地域環境協力推進協議会、ハバロフスク地方(天然資源省環境保全局)

5.参加自治体

2001年度：日本8自治体、中国1自治体、韓国2自治体

2002年度：日本8自治体、韓国9自治体、中国3自治体

2003年度：日本8自治体、ロシア6自治体、中国1自治体、韓国2自治体、モンゴル1自治体

6.開催内容

いずれの年度のシンポジウムも3日間からなり、第一日目には現地視察として、シンポジウムテーマに関する環境施設等への視察を行いました。第二日目には会議として、開催国側及び日本側からの基調講演、各国参加自治体からの事例報告が行われました。第三日目には、シンポジウム参加者間で質疑応答や情報交換を行う環境技術交流会を開催されました。



2003年北東アジア地域国際環境シンポジウムの様子